



# 学校だより

平成29年2月24日

横浜市立高田中学校

3月号(第28-12号) TEL: 591-4183 校長 福田 之男

## 学校運営協議会

2月17日(金)に今年度4回目の学校運営協議会が本校会議室で開催されました。学校運営協議会とは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。年間4回の開催が予定され、今回が今年度は最終となります。

2回目と3回目の学校運営協議会は、体育祭、文化祭の時期に開催し、生徒が生き生きと行事で活動する様子をご覧いただきました。今回は1回目と同様に授業に取り組む生徒の様子を見ていただき、その後授業の感想や地域での生徒の様子、その他教育活動への意見をいただきました。また、今年度の学校評価の結果についての説明と今年度重点を置いて取り組んできたこと(「高田の時間」、教職員の人材育成、学校運営組織の手直し等)について説明しました。

授業については、生徒は落ち着いた態度で授業に取り組んでいる、実生活に役に立つテーマで授業が行われていた(家庭科)、読み取った内容を視覚化する活動が興味深かった(国語科)、生徒の発表の声小さい、講義タイプの授業が多い、生徒同士のやりとりがあるとよい等のご意見をいただきました。

地域での生徒の様子では、あいさつがしっかりとできている、中学生がリーダーとなるような活動ができるとよい等のご意見をいただきました。中学生が地域でもしっかりとあいさつをしていることを伺い、とてもうれしく思いました。来年度も保護者の皆様、地域の皆様と協働してよりよい高田中を目指します。

## 小学校併設型中学校の指定

2月3日(金)の横浜市教育委員会において、「横浜市立学校の管理運営に関する規則」が改正され、「中学校併設型小学校及び小学校併設型中学校」の導入が決定されました。市内4中学校ブロックに「中学校併設型小学校及び小学校併設型中学校(以下併設型小・中学校)」が設置され、高田中ブロック(高田中学校・高田小学校・高田東小学校)もその一つとして指定されました。

高田中ブロックが指定された併設型小・中学校では、地域の特性や児童・生徒の実態に即し、授業時数や教育内容の配列などについて、学習指導要領の枠を柔

軟に捉えて教育課程を編成し、学習、生活の両面で9年間一貫した緩やかで確実な教育活動を実現させることを目的としています。具体的な取組としては、学校運営協議会を3校合同で設置したり、9年間の小中一貫カリキュラムをマネジメントするブロック内の組織や体制を整備したりすることなどが考えられます。次年度より、3校の教職員がより充実した小中一貫教育をめざして教育活動に取り組んでいきます。

### 国が示す小中一貫教育に関する制度の概要

		併設型小・中学校	義務教育学校
修業年限		小学校6年、中学校3年	9年（前期課程6年＋後期課程3年）
組織・運営		それぞれの学校に校長、教職員組織 小学校と中学校における教育を一貫して施すためにふさわしい運営の仕組みを整えることが要件	一人の校長、一つの教職員組織
免許		所属する学校の免許状を保有していること	原則小学校・中学校の両免許状を併有 ※当分の間は小学校免許状で前期課程、 中学校免許状で後期課程の指導が可能
教育課程		<ul style="list-style-type: none"> <li>・9年間の系統性・体系性に配慮がなされている教育課程の編成</li> <li>・9年間の教育目標の設定</li> </ul>	
教育課程の特例	一貫教育に必要な独自教科の設定	○	○
	指導内容の入替・移行	○	○
施設携帯		施設一体型・施設隣接型・施設分離型	
設置基準		小学校には小学校設置基準、 中学校には中学校設置基準	前期課程は小学校設置基準、 後期課程は中学校設置基準
名称		〇〇小学校、〇〇中学校	〇〇義務教育学校（〇〇学園）
設置手続		市町村教育委員会の規則等	市町村の条例

### 高田中学校学校支援運営委員会の設置 学校地域コーディネーターについて

今年度「高田中学校学校支援運営委員会」が設置されました。学校支援運営委員会は、学校の教育活動を支援するために、学校を支援しようとする地域の人々の参加をコーディネートするもので、学校・家庭・地域が一体となり、地域ぐるみで子どもを育てる体制を整えることを目的としています。これまでも本校においては「おやおやの会」や自治会・町内会をはじめとして、様々な皆様に学校の教育活動へのご協力をいただけてきました。学校支援運営委員会では、これまでの取組をさらに発展させて組織的なものとし、学校のニーズと地域のお力をマッ

チングして、より効果的な学校教育支援を行い、教育のさらなる充実を図ることを目的としています。

この学校支援運営委員会の実質的な運営を担い、学校と支援していただける地域の皆様との連絡調整を行うのが「**学校地域コーディネーター**」です。現在コーディネーターの皆様が計画しているのは、生徒の学習の場の設定です。2月27日（月）、28日（火）の放課後に試行として学習の場を本校図書室に設定しますが、次年度はより生徒が利用しやすい場所や時間帯に設定することを計画中です。地域の皆様で中学生の学習を支援していただける方がおりましたら中学校（591-4183 担当：副校長）までご連絡をいただきますようよろしくお願いいたします。なお、地域にコーディネーターから配布されました文書について、説明が不足していましたことをお詫びいたします。

## 1 学年自然教室 ～「信頼し 信頼される 青学年」を目指して～

「今週末は、今冬最も強い寒波の襲来が予想されます」と天気予報で繰り返された、2月10日（金）～12日（日）1学年は長野県白樺湖ロイヤルヒルスキー場へ自然教室に行き参りました。

現地の方にも例年にない寒さで、3日間とも昼間でもマイナス10度の世界でした。しかし、天候はよく、時々粉雪が舞うことはあっても薄曇りから晴れ、最終日は見事な快晴でした。

昨年の11月に実行委員会を立ち上げ、スローガンを決め、各係に分かれて準備を進め、前日の結団式、当日の出発式を経て、元気に出発して行きました。

バスは安全をとって途中チェーン装着したために到着時刻が遅れたものの、レクで盛り上がった車内は4時間半の長さを感じることなく、白銀の世界に着きました。ホテルの屋根からは1mぐらいの長いつららが伸び、見渡す限り真っ白な世界に、横浜とは違う「自然」を目の当たりにしました。ホテルに入るやいなや、高田中校歌のピアノ生演奏のおもてなしを受け、嬉しい驚きからスタートしました。



昼食後、さっそく講習が始まりました。今回がスキー初めての人から、マイスキー持参の上級者まで、スキーのレベルはさまざまですが、それぞれ自分のレベルで“滑れるようになること”が目標です。講習は初日と2日目、全部で4回9時間。4回目は極寒の星空の下でのナイター滑走でした。自由時間を利用して、星座観察をしたり、濡れたタオルを振り回して凍らせる実験をしたりする生徒もいました。

中学生の吸収力は見事で、初めてスキーに挑戦した生徒も、2日間でスイスイと滑れるようになっていました。初めは恐がって少しも進めなかったのに、2日目の最後には急斜面を滑って降りてくることができた努力に感激したインストラクターさんが、講習終了時に涙を流されたという場面もありました。

3日目のフリー滑走では、講習で習ったことを思い出しながら、真っ青な空の下、真っ白なゲレンデを、思い思いに滑り降りて行っていました。

今回の自然教室の目的は、①雪国の自然に触れ、その生活を体験する。②集団生活を通して集団の規律の大切さを学び、学年・学級のまとまりを図る。③友達との関わりを通して、お互いの良さを認めよりよい友人関係を築く。④安全と健康を自己管理できる生活態度を育てる。⑤スキー技術の習得を通して、達成感を味わう。でしたが、どれもほぼ達成できたと思います。



誰一人、病気やケガなく3日間を過ごせたことは素晴らしいことです。また、それぞれのレベルでスキー習得できましたし、何よりも立派だったのは、すべての行程を5分前行動を意識して時間通りに行ったことでした。バスレクや全体レクで、意外な人が司会や歌が上手なことを発見できたり、部屋や大広間でスリッパを自主的に並べる人がいたり、仲間の素敵な点を発見することができたという意味でもこの自然教室は成功でした。スローガンの「信頼し 信頼される 青学年」は今回の自然教室だけではなく、2年後の卒業までずっと青学年のテーマにして欲しいと思いました。そのスタートにもなる素晴らしい自然教室でした。

誰一人、病気やケガなく3日間を過ごせたことは素晴らしいことです。また、それぞれのレベルでスキー習得できましたし、何よりも立派だったのは、すべての行程を5分前行動を意識して時間通りに行ったことでした。バスレクや全体レクで、意外な人が司会や歌が上手なことを発見できたり、部屋や大広間でスリッパを自主的に並べる人がいたり、仲間の素敵な点を発見することができたという意味でもこの自然教室は成功でした。スローガンの「信頼し 信頼される 青学年」は今回の自然教室だけではなく、2年後の卒業までずっと青学年のテーマにして欲しいと思いました。そのスタートにもなる素晴らしい自然教室でした。

## 次年度学校納入金の納入方法について

次年度の学校納入金（副教材費）の納入方法ですが、今年度と同様に川崎信用金庫に開設していただいた保護者の皆様の口座からの引き落としで納入していただく予定です。PTA 運営委員会で学校から提案させていただいた、業者に直接支払っていただく方法ですが、納入日の設定などに課題があることが判明したため、次年度については従来通りの方法で納入していただくこととします。詳しくは、次年度5月上旬に配付予定の「学校納入金についてのお知らせ」をご覧ください。